

技術・家庭 (家庭分野)

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	家庭 002-72	A B 298	令和 6 年
6	教育図書	教 図◆	家庭 006-72	A 4 変形 296	
9	開隆堂出版	開隆堂◆	家庭 009-72	A B 314	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
3冊	東書、教図、開隆堂

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応える。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 中学校の技術・家庭（家庭分野）では、衣服の製作、調理、幼児との触れ合い等の実践的・体験的な学習活動を中心として行う。
- (2) 観察・実験・実習、調査・研究、発表・討論、社会体験などの体験的な学習、問題解決的な学習を積極的に取り入れる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で、保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東 書	86	118	96
教 図	91	93	76
開隆堂	88	58	141
平均値	88.3	89.7	104.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。

b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 衣食住の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために、実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的な技術を身に付けさせる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、解決しようとしたり、「保育実習」を通して幼児と適切に関わろうとしたりする態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国の交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で、保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東 書	22	118	96
教 図	28	93	76
開隆堂	40	58	141
平均値	30.0	89.7	104.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。
- b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。
- c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 中学校の技術・家庭（家庭分野）では、衣服の製作、幼児との触れ合い等の実践的・体験的な学習活動を中心として行う。
- (2) 地域と協力した体験学習、地域調査・研究等により、地域から学ぶ学習を積極的に取り入れる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で、保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 生活の自立と衣食住を扱っている教材数
東 書	22	118	96
教 図	28	93	76
開隆堂	40	58	141
平均値	30.0	89.7	104.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。
- b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。
- c 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得させる。
- (2) 家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校整備に関する検討委員会報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校 教育課程 第1章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	同上	箇所
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わりの中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東 書	86	22	11
教 図	91	28	9
開隆堂	88	40	14
平均値	88.3	30.0	11.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。

b 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らしなどを取り上げている箇所を数えている。

c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材について数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

衣食住を中心に日常生活に必要な基礎的な知識、技術を実践的・体験的な学習活動を通して身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わりの中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東 書	22	96	11
教 図	28	76	9
開隆堂	40	141	14
平均値	30.0	104.3	11.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材について数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 生活の自立に必要な衣食住について基礎的な知識、技術を実践的・体験的な学習活動を通して身に付けさせる。
- (2) 家族・家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個
c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数	同上	ページ

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 持続可能な社会の構築に対応して、消費生活や環境に配慮したライフスタイルと確立について扱っている箇所を調査する。

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数
東 書	22	96	24
教 図	28	76	9
開隆堂	40	141	22
平均値	30.0	104.3	18.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

c 「持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数」については、持続可能な社会の内容に触れているページ数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一貫通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 生活の自立に必要な衣食住や消費生活に関する、基礎的な知識や技術を習得し、家庭の機能について理解を深め、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
- (2) 家庭や地域・環境問題などについて、実験・実習を取り入れ、生活の自立と共生の姿勢を育てる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個
c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数	同上	ページ

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 持続可能な社会の構築に対応して、消費生活や環境に配慮したライフスタイルと確立について扱っている箇所を調査する。

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数
東 書	86	96	24
教 図	91	76	9
開隆堂	88	141	22
平均値	88.3	104.3	18.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。
- c 「持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数」については、持続可能な社会の内容に触れているページ数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 衣食住に関する知識と技術の習得を通して、自分の生活に対する関心を深め、生活の自立を図る。
- (2) 幼児とのかかわりを通して、家族や周囲の人々との人間関係の大切さや家庭生活を営む意義を見出す。
- (3) 家庭生活と消費について考えを深め、豊かな家庭生活への実践の手がかりとし、よりよい生活を主体的に工夫できる能力や態度を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	同上	箇所
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 幼児や高齢者との触れ合いに関する学習に必要な基礎的な技術を身に付けるため、実践的・体験的な学習を生徒が主体的に進める上で保育実習や幼児と大人との触れ合い、高齢者との交流などに関する内容を扱っている箇所数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わりの中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東 書	86	118	11
教 図	91	93	9
開隆堂	88	58	14
平均値	88.3	89.7	11.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「幼児や高齢者との触れ合いに関する内容を扱っている箇所数」については、幼児と生徒との触れ合いや幼児と家族との触れ合いなどを取り上げている箇所を数えている。
- c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材について数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働
力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6 年間
を通して“確かな学力”を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の
様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得し、家庭の機能と生活改善等の内容を実践的・
体験的学習を通して学ぶ。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 世界各地の生活や技術及び我が国との 交流を扱っている箇所数	八王子地区中高一貫6年制学 校基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材 数	同上	個
c 家族と家庭生活を扱っている教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 世界的視野をもって国際社会で活躍できる生徒を育成するために、世界各地の生活や技術
及び我が国との交流を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び
実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 人間が生活するよりどころとなる家庭や家族の機能を理解するとともに、家族との関わり
の中で衣食住などの生活を自立して営む能力と態度を身に付けるために、家族と家庭生活を
扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 家族と家庭生活を扱っている教材数
東 書	22	96	11
教 図	28	76	9
開隆堂	40	141	14
平均値	30.0	104.3	11.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

a 「世界各地の生活や技術及び我が国との交流を扱っている箇所数」については、世界各地の衣食住生活や暮らし方などを取り上げている箇所を数えている。

b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。

c 「家族と家庭生活を扱っている教材数」については、家庭生活での家族との関わりについて扱った題材について数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊 数	発 行 者 の 略 称
3 冊	東書、教図、開隆堂

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

【技術・家庭（家庭分野）における学習指導の展開】

- (1) 実践的・体験的な学習活動に重点を置き、生活の自立と共に必要な衣食住についての知識と技能を身に付ける。
- (2) 家族、家庭の機能や役割について理解を深めるとともに、人との関わりや住みよい地域づくりについて学ぶ。
- (3) 消費生活、エネルギーの利用、環境問題などの発展的な学習を行い、自ら課題をもって解決する態度を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	箇所
b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	同上	個
c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数	同上	ページ

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の伝統や文化を理解するとともに、国際的な視野と態度を養うために、日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数を調査する。
- b 生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識や技術を習得するために、基礎技能及び実習に関する内容を扱っている教材数を調査する。
- c 持続可能な社会の構築に対応して、消費生活や環境に配慮したライフスタイルと確立について扱っている箇所を調査する。

項目 発行者	a 日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数	b 生活の自立と衣食住を扱っている教材数	c 持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数
東 書	86	96	24
教 図	91	76	9
開隆堂	88	141	22
平均値	88.3	104.3	18.3

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 「日本各地の食材・郷土料理を扱っている箇所数」については、日本各地の食材、郷土料理を取り上げている箇所を数えている。
- b 「生活の自立と衣食住を扱っている教材数」については、衣食住生活に関わる実習例と自立につながる題材を数えている。
- c 「持続可能な社会に関する内容を扱っているページ数」については、持続可能な社会の内容に触れているページ数を数えている。